

ユリア・プレジウス  
**やはり存在した「政策テーマ」**

2021年ドイツ連邦議会選挙戦の  
 政策テーマについて

**総論**

**2021年連邦議会選挙の選挙戦では、政策テーマが欠如していると批判する声が多かった。しかし実際には、ますます複雑化する世の中で市民は様々な政策テーマに関心を持っており、どうすれば将来もよい生活を送れるのか知りたがっている。なかでも気候保護、社会的正義、健全な経済成長は、重要な課題だ。ただしその解決策は多くの場合、課題と同じく複雑だ。そのためこうした解決策は、厳密に描かれたビジョンの中で検討しなければならないのである。**

2021年の連邦議会選挙の選挙戦では、政策テーマが大した役割を果たしていないという批判の声が何度も上がった。政治的立場よりも人物像、公約よりもパフォーマンスが選挙結果を左右したというのが、ドイツの主要メディアの記事や寄稿の一致した意見だった。こうした分析は、有権者が政策の中身よりも、候補者の能力や信頼性を重視したとの見方を示している。しかし実際には、選挙戦中もその後も、人々はさまざまな政策テーマに非常に関心を持っていた。ますます複雑になり、大きな課題が増える世の中で、国民は将来もよい生活を送るにはどうしたらいいのか、知りたがっていたのだ。4年前の選挙戦では難民問題がほとんど唯一の争点だったが、今回はドイツにおける環境持続可能性および健全な経済的発展を、いかに社会的正義と両立させていくかが中心となった。

**私たちは、「VUCA」の世界に暮らしている**

ドイツにおける人々の生活は、世界の多くの場所と同様、より多層的で、目まぐるしく、予測不可能になった。このため

企業経営の分野では、頭文字から造った「VUCA」という業界用語が使われている。これは変動的で（volatil）、不確実で（unsicher）、複雑で（komplex）、曖昧な（mehrdeutig）な状況のことで、そのために企業幹部は新たな課題に直面している（VUCA-Welt o. J.）のだ。この「VUCA」な状況は、私たちが活動している政治経済についても言える。気候変動、社会的不平等の拡大といったメガトレンドだけでなく、急速なデジタル化も大きな不確実性を生み、多層的で、複雑で、結果の予測がしづらくなっているのである。企業経営におけるVUCAという概念の目標は、人や組織を「デジタル化や様々な改革と調和させる」ことだ。そのためには、専門知識だけでなく、明確な未来像と先見の明のあるマネジメントが必要となる。そしてこれは、社会政治的領域にも通じることなのである。

こうした課題は、新型コロナウイルスのパンデミックで世界が大混乱に陥ったこの1年半で、特に明らかになった。パンデミックはまるで拡大鏡のように、現在の世界が抱えるクリティカルポイントと諸問題を浮き彫りにした。物事がいかに急速に予想もつかない方向に変わるものか、現状がいかに突然、不確実なものになってしまうものか、私たちの世界がいかに「VUCA」なものかを、人類はきわめて短期間に経験したのである。多くの人が、メガトレンドの一部を直接自分の生活の中で実感した。進むグローバリゼーションの結果である社会的不平等は、パンデミックによりますます悪化した。不安定な職業に従事する人々がまず仕事を失い、賃金の安いシステム関連労働者はウイルスの前にほとんど無防備で、ロックダウン下では、特に劣悪な狭い環境に住む人々が苦しんだ。デジタル化による可能性と危険性は、在宅授業や在宅勤務で明らかになった。自宅で快適に仕事をしたり学習したりできる人もいれば、端末や、安定したインターネット接続や、デジタル関連の質問に答えられる両親や教師がいない人もいたのである。オンラインでの小売りプラットフォームが急増する一方、アナログの小売店舗が立ちいかなかった。そしてついに、ド

イツおよび国際経済が、深刻な危機に陥った。成長が破綻し、多くの国が広範囲の景気安定化計画で、長引く不況を回避しようとしたのである。

パンデミック発生後の数か月、気候変動問題は公開討論の場では忘れられていたが、今年の夏の異常気象で、再び市民の意識の中に戻ってきた。グリーンランドとトルコの森林で数週間にわたって火災が続き数千人の住民が避難する一方で、アール渓谷地方では洪水が起き、多くの人々が家や、生活の糧や、命まで失った。異常気象の影響は、ラインラント・プファルツ州とノルトライン＝ヴェストファーレン州のいくつかの地域に大きな打撃を与え、すでに私たちの生命にかかわる問題になっていることを浮き彫りにしたのである。

## 社会正義、気候保護、そして経済発展

こうした中での選挙戦は、政策テーマなしでは済ませられない。人々は安定を望むと同時に、そのためには衣食住の確保が必要なることを知っている。投票日当日にInfratest Dimap社が全ての政党への投票者を対象に実施した世論調査でも、大部分が投票判断の決め手は「公約」だったと答え（SPDの44%から緑の党の82%まで）、次いで「候補者」「忠誠心」の順になった（Infratest Dimap 2021a）。社会、環境、経済問題が多く有権者にとって最重要課題であった今年、これは当然のことだろう。また今年2月と3月にフリードリヒ・エーベルト財団（FES）の委託で実施された世論調査「現状維持か変化か：コロナ・パンデミック後の政策立案に関する社会的イメージ」（Kantar Public i. E.）では、市民に対しどんな政策テーマに関心があるかを尋ねた。その結果、長引くロックダウンの経験から、回答者の68パーセントが「人を中心と考えた医療政策」、66パーセントが「教育や訓練への投資の増加」、59パーセントが「家族介護へのよりよい支援」に関心があると答えた。その次に多かったのは、「手ごろな価格の住宅建設」や「長年にわたる職業活動に対する社会政策的改善」のような社会問題だった（Kantar Public i. E.）。さらにコンラート・アデナウアー財団が実施した連邦議会選挙前の有権者の意識調査では、人々は政党に対し、問題解決能力と有能な首相候補の他に、特に「社会主義的であること」（合計で91パーセント）、「気候保護に取り組んでいること」（合計で87パーセント）（Neu/Pokorny 2021）を期待しているという結果になった。

Infratest Dimapによる選挙前の分析では、28パーセントの人が「社会保障」を、22パーセントが「環境および気候」を、やはり22パーセントが「経済と雇用」を、自分たちにとって重要な政策テーマとして挙げている。支持する政党によって優先順位は違うかもしれないが、この調査結果はドイツ全体の課題と願いを反映している。ドイツの経済状況については、2017年にはまだ調査対象者の84パーセントが好調であると評価していたが、2021年にはそう考える人は59パーセントにとどまった。さらに、ドイツがかなり不平等な状況にあると考

えている人は、2017年のわずか38パーセントに比べて、2021年には45パーセントまで増えている（Infratest Dimap 2021b: 2）。現在では、メルケル首相の下で「政治の社会民主化」が進められたほか、ここ2年の気候危機の深刻化やフライデー・フォー・フューチャーの重要性の高まりに伴って、「政治のグリーン化」も起きている。このため3大政党は、程度や優先順位に違いはあっても、いずれも社会的政策テーマ、気候変動対策、安定した経済成長を掲げているのである。

## 複雑な選挙公約

ますます複雑化する世の中で、大多数の票を集める中央政党間の違いがますます小さくなるのなら、投票判断の決め手となるのは何だろうか？ 社会的および環境保護的改革の重要性は、基本的に公約にも反映されている。だがそれは、非常に複雑な問題の解決案は、やはり非常に複雑であると再確認しているだけだ。首相候補を掲げた3大政党の公約はいずれも非常に長く、ドイツ社会民主党（SPD）が発表した64ページの将来計画書が、大差をつけて最も短い。キリスト教民主・社会同盟（CDU/CSU）のマニフェストは139ページ、緑の党に至っては272ページある。たとえば、選挙戦の中心的な政策テーマの1つである気候変動に関する各党の対策を見ると、いずれのマニフェストもなかなかバラエティーに富んでいる。SPDの公約には、「将来のミッション：気候中立国ドイツ」という項目がある（SPD 2021）。どうすればドイツが2045年までに気候中立国になれるかが、2ページ半にわたって書かれている。中には、「再生可能エネルギーの利用拡大」、「蓄電技術とインフラの開発」、「水素エネルギーの利用拡大」、「EEG賦課金の廃止」、「社会生態学的変革のための産業戦略」、「気候変動に配慮した生産プロセス」、「1人当たりの定額料金の検討」といったキーワードが並んでいる。さらに次のモビリティに関する章にも、気候関連の内容が多く含まれている。緑の党では、「暮らしを守る」というタイトルの下、「EEG賦課金の削減」、「気候ボーナス」、「再生可能エネルギーの利用拡大」、「気候変動に配慮した経済に向けた研究と技術革新」、「環境にやさしいデジタル化」、「エネルギー税」により、同党がいかに気候変動の問題に対処していくかを、丸々45ページかけて説明している（Bündnis 90/Die Grünen 2021）。最後にCDU/CSUは、「新たな繁栄——気候中立工業国に向けた持続可能な成長」と銘打った章でその抱負を25ページにわたって述べている（CDU/CSU 2021）。それには「成功モデルとしての社会的市場経済」の継続、「経済のための解放政策」、さらにドイツが2045年までに気候中立国となることも含まれている。「再生可能エネルギーの利用は拡大されなければならず」、「革新的技術」を推進していくという。

各党ではもちろん優先順位や手段が違い、それは見出しだけでも一目瞭然だ。だがいずれの提案も、関心を持つ有権者なら詳しく検討し、明確な専門知識を参考にする必要があり、「気候ボーナス」（緑の党）と「1人当たりの定額料金」（SPD）

のように、非常に似たものを比較し、違いを理解しなければならないのだ。また、ある対策が自分の個人的（経済的）状況に直接どんな影響があるのか、そしてそれが温暖化防止と社会正義にどう貢献するのかも知りたいところだ。そのためにはその手段を理解するだけでなく、様々な数値をあてはめながら、異なる組み合わせを検討しなければならない。

こうした提案をわかりやすく具体的に説明するために、今回の選挙戦では、各党の公約や政治的立場を多数のメディアが比較分析しただけでなく、首相候補が数かぎりなくテレビに出演して訴えた。このため今年も、3回の公式に加えて数多くの非公式テレビ討論会が行われたほか、市民が候補者に直接質問できる「選挙アリーナ」など様々な形式も取られた。ここでも重要となったのは政策テーマであり、特に社会生態学的変革に関して多くの議論が交わされた。アフガニスタンからの撤退は、ドラマチックな映像と外交的な重要性にもかかわらずそれほど関心を集めず、調査結果には（少なくとも一見したところでは）全く、あるいはほとんど反映されなかった。

## 物語が必要

様々な調査結果が示すように（上記参照）、政策テーマは重要である。同時に公約やメディアフォーマットを見ると、考案した様々な対策や手段を有権者にわかりやすく伝えるのがいかに難しいかがすぐわかる。そのためにはビジョン（未来像）が必要なのだ。物語の中に方向性のあるビジョンを盛り込み、物語にメリハリをつけ、政治的に象徴となるようなプロジェクトをマイルストーンとして設けるのである。人々は首相候補とその党が重要な疑問への答えを出し、それによって困難な改革の方向性を示してくれることを求めている。そのためには、物語が1番だ。緑の党は、今回の選挙戦でも長年の気候物語を基盤とし、5.8パーセントの得票数増加に見られるように大成功を収めた。同党は依然として、気候変動を中心課題として挙げている。SPDは、社会正義と温暖化防止と経済発展の3点セットに重点を置き、少なくとも「尊敬（Respekt）」を党の物語のライトモチーフに、最低賃金の引き上げを象徴プロジェクトにしている。CDUは、あまり明確ではなく、首尾一貫した物語を提供していない。このためCiveyの世論調査では、回答者の25.5パーセントが選挙戦の政策テーマを最もうまく伝えたのはSPDだと答えたのに対し、緑の党が最もうまく伝えたと感じたのは14.6パーセント、CDUが党の政策テーマを伝えるのに成功したと考えたのは11.1パーセントにとどまった。各党の選挙運動に関する評価も、似たような結果となった（Civey 2021）。

SPDは、過去数年の失敗から学び、あからさまな策略や攻撃や派閥争いは控えてきた。そしてすでに2020年8月には首相候補を指名し、支持してきた。こうした状況だから、SPDが有権者を説得できたのは、もちろん首相候補のおかげでもあるのだ。ドイツ国民の66パーセントが、オラフ・ショルツが首相候補としてふさわしいと考え、60パーセントが、優秀な危

機管理者であると見ている。しかしそれだけではない。SPDに対する評価は、政治課題に関しても、2017年より高くなった。「公正な賃金」では44%、「社会的正義」では40%、「安心できる老後の備え」では36%が、SPDの能力は他の政党よりも優れていると評価している。そして税金に関しても、SPDの方がCDUよりも専門知識を備えていると答えた人が多かった。（31:21）。さらに61パーセントが、特定のグループの人により重く課税することは正しいと考えている（Infratest Dimap 2021b）。

## 人物像とビジョン

VUCAな世界は複雑で、幾重にも重なり合った課題を抱えている。メガトレンドは急速に進行し、全ての人の生活に影響を与えている。こうした傾向はパンデミックや洪水の被害により、目に見えるどころか顕著になった。そんな中での選挙戦が明確な政策テーマなしで済むわけではなく、実際問題として不可能だ。社会正義、気候保護、経済発展は、有権者の関心事であり、各党の公約に盛り込まれ、メディアでも取り上げられている。しかしこうした政策テーマが、わかりやすく厳密な物語として説明されることがないか、あっても不十分なため、人々は首相候補者の人物像にも目が行ってしまう。この人物像というのは、首相候補者の政策テーマ物語のようなものだ。

SPDは、選挙戦で政策テーマと同じくらい首相候補のおかげで票を集めた。これは、他党が弱かったおかげである。だがSPDは自らが主導する新政権で、社会生態学的な未来像の中に、つまり改革の道を進むドイツの物語の中に、政策テーマや理念を盛り込むことができると証明しなければならない。そうすることで初めてSPDは、16年間にわたるメルケル政権との違いを見せることができる。メルケルもまた、よい危機管理者であり有能な交渉者であると評判だったが、ドイツの未来に関するビジョンは持っていなかったからだ。本当の意味で社会生態学的な未来像への野心が、来る連立政権交渉も決定づけるべきである。これが企業経営なら、VUCAな世界はやはりVUCAな経営スタイルで対応すべきだと言うところだろう。「理解（Verständnis）」、「明確さ（Klarheit）」、「適応（Anpassungsfähigkeit）」だけでなく、ここでは何よりも「未来像（Vision）」が重要なのである。

## 参考文献

**Bündnis 90/Die Grünen 2021:** Deutschland, alles ist drin: Bundestagswahlprogramm 2021, [https://cms.gruene.de/uploads/documents/Wahlprogramm-DIE-GRUENEN-Bundestagswahl-2021\\_barrierefrei.pdf](https://cms.gruene.de/uploads/documents/Wahlprogramm-DIE-GRUENEN-Bundestagswahl-2021_barrierefrei.pdf) (24.9.2021).

**CDU/CSU 2021:** Das Programm für Stabilität und Erneuerung: Gemeinsam für ein modernes Deutschland, <https://online.fliphtml5.com/kxyi/eyjg/#p=1> (24.9.2021).

**Civey 2021:** 10 Fragen zur Bundestagswahl, Lagebericht (27.9.2021).

**Infratest Dimap 2021a:** Wahlanalyse zur Bundestagswahl 2021, Übersichtigen Tabellen, 27.9.2021.

**Infratest Dimap 2021b:** Vorwahlenanalyse zur Bundestagswahl 2021: Ergebnisse einer repräsentativen Befragung der Wahlberechtigten in Deutschland vor der Bundestagswahl am 26. September, im Auftrag der ARD.

**Kantar Public i. E.:** Bewahren oder Verändern: Gesellschaftliche Vorstellung zur politischen Gestaltung nach der Corona-Pandemie, Friedrich-Ebert-Stiftung, Berlin.

**Neu, Viola; Pokorny, Sabine 2021:** Vermessung der Wählerschaft vor der Bundestagswahl: Ergebnisse einer repräsentativen Umfrage zu politischen Einstellungen, Konrad-Adenauer-Stiftung, Berlin.

**SPD 2021:** Aus Respekt vor deiner Zukunft: Das Zukunftsprogramm der SPD, <https://www.spd.de/fileadmin/Dokumente/Beschluesse/Programm/SPD-Zukunftsprogramm.pdf> (24.9.2021).

**VUCA-Welt o. J.:** Homepage, <https://www.vuca-welt.de/> (23.9.2021).

## 筆者

**ユリア・ブレジウス** 2021年4月から、フリードリヒ・エーベルト財団の研究発表部門の責任者。それ以前は南コーカサスやウクライナなど、いくつかのFES 国外事務所の所長を務めた。

Imprint:

© 2021

Friedrich-Ebert-Stiftung Tokyo / Japan

7-5-56 Akasaka

Minato-ku

Tokyo, 107-0052

Japan

Tel: (03)-6277-7551

Fax:(03) 3-3588-6035

E-Mail: [office@fes-japan.org](mailto:office@fes-japan.org)

[www.fes-japan.org](http://www.fes-japan.org)

Responsible:

Sven Saaler, FES Representative in Japan

## 発行責任者：

フリードリヒ・エーベルト財団分析・企画・コンサルタント部門ヤン・ニクラス・エンゲルス：

ご注文・お問い合わせ : [ap-cy@fes.de](mailto:ap-cy@fes.de)

タイトル写真 : [picture-alliance.com](http://picture-alliance.com/) / ビルギット・ライツ=ホフマン

本出版物に掲載されている見解は、必ずしもフリードリヒ・エーベルト財団 (FES) のものとは一致しません。FES が発行するメディアの商業的使用は、FES の書面による許可なくしてはできません。FESの出版物は、選挙運動のために使用することはできません。